

信頼性技術オンラインセミナー開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当協会の諸活動に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、JEITA 信頼性技術強化WGは、電子部品の信頼性技術の維持・強化を目的に2014年度に発足し、これまでに、自動車産業向け品質マネジメントシステムの国際規格 IATF16949 に必須の5つのコアツールを中心に信頼性技術に関するガイドを刊行してまいりました。

本セミナーでは、信頼性技術強化WGがこれまでに刊行したガイドについて改めてご紹介させていただきます。また、招待講演として、電子機器の信頼性に関するエキスパートである長谷部 光雄氏（のっぽ技研代表）を講師にお迎えし、電子機器及び電子部品の信頼性予測にとって障壁となる「データ数と時間の壁」を越えて効率的な信頼性評価を行うための考え方についてご説明いただきます。

なお、開催形式は昨今の状況を鑑み、オンラインWEB形式とさせていただきます。

業務ご多用のところとは存じますが、関係各所等に広く周知頂き、多くの皆様のご参加を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【日 時】 2021年2月24日（水）13:00～16:00

【主 催】 一般社団法人 電子情報技術産業協会 電子部品部会／技術・標準戦略検討会
部品安全専門委員会／信頼性技術強化WG

【開催方式】 WEB開催（Cisco社 WebExによるオンライン）

【参加費】 無料

【定 員】 100名

【申込方法】 以下URLに必要事項をご入力の上お申し込みください。

<https://www.jeita.or.jp/form/custom/60/form>

※お申込完了後に、「受付完了メール」がお手元に届きます。

※Web参加案内（接続情報）については、開催日5日前を目途にご連絡致します。

【申込期限】 2021年2月17日（水）

【問合せ先】 一般社団法人 電子情報技術産業協会 部品・デバイス部（細川）

TEL: 03-5218-1056 E-mail: t-hosokawa@jeita.or.jp

◆ プログラム

13:00～13:05 開会挨拶 部品安全専門委員会 主査 有賀 善紀 氏

13:05～14:35 講 演

「信頼性設計のための効率的な評価法」

のっぽ技研 代表 長谷部 光雄 氏

1. 「数と時間の壁」に阻まれている信頼性設計の現状を打破する品質工学の考え方を提案
2. 電子部品の信頼確認を一万分の一に短縮した実例などを解説
3. 何故、そのやり方で「数と時間の壁」を破れるのか…信頼性に対する新しい発想の解説

14:35～16:00 信頼性技術強化 WG 刊行物のご紹介

「5 コアツール実施ガイド」のご紹介

信頼性技術強化 WG 主査 守谷 敏 氏

「欧米の自動車メーカーは、部品サプライヤーに対して IATF16949 認証登録を要求しています。その中では、5 コアツールと呼ばれる技法が規定されており、品質マネジメントシステムに組み込まれ、運用されていることが求められています。信頼性技術強化 WG では、電子部品で 5 コアツールを実施する場合のガイドを作成し発行いたしました。5 コアツールの内容と実施ガイドについて紹介いたします。」

「AEC-Q200 REV D 規格 - 受動素子のための信頼性適合試験ガイド」のご紹介

信頼性技術強化 WG 副主査 古川 秀文 氏

「信頼性技術強化 WG では、2020 年 12 月に「AEC-Q200 REV D 規格-受動素子のための信頼性適合試験ガイド」を JEITA ホームページに掲載しました。自動車向け受動部品を対象とした同規格による試験要件を取り上げ、試験現場での手順書或いは教育用資料として利用できるようなガイド本に仕上げています。今回はその内容概略を紹介いたします。」

以上